

平成 30 年 度

盛岡市一般会計及び各特別会計
歳入歳出決算概要説明書

平成30年度盛岡市一般会計及び 各特別会計歳入歳出決算概要説明書

平成30年度盛岡市一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算の概要について説明いたします。

最初に、一般会計歳入歳出決算について説明いたします。

当初予算額は、歳入歳出とも110,640,000,000円でありましたが、その後、事業の進展及び地方交付税等の確定に伴い第1号から第5号までの補正が行われ、これに平成29年度からの繰越額（繰越明許費及び事故繰越し）を加えた最終予算現額は、歳入歳出とも120,424,874,451円となったものであります。

会計事務の執行にあたりましては、常に歳入の確保に、また、歳出につきましては、適正な事業の執行の確立に最善の努力を傾注し、法令及び予算議決の趣旨に十分適合することを旨として執行しました。

この結果、決算額は、歳入総額が112,040,767,242円、歳出総額が110,371,206,742円となりましたので、歳入歳出差引額1,669,560,500円は、剰余金として令和元年度へ繰り越しております。

この剰余金から翌年度へ繰り越すべき財源712,597,314円を差し引きました平成30年度実質収支は956,963,186円となりました。

なお、平成29年度から平成30年度へ繰り越した額が1,036,424,623円でありましたので、単年度収支はマイナス79,461,437円となり、これを、平成29年度の決算と対比して表示いたしますと、次表のとおりであります。

区 分	年 度		平成30年度	平成29年度	増 減
			円	円	円
1	予 算 現 額		120,424,874,451	114,610,110,391	5,814,764,060
2	歳 入 総 額	(A)	112,040,767,242	110,810,908,537	1,229,858,705
3	歳 出 総 額	(B)	110,371,206,742	109,351,014,166	1,020,192,576
4	歳 入 歳 出 差 引 額	(A)-(B) (C)	1,669,560,500	1,459,894,371	209,666,129
5	翌年度へ繰り 越すべき財源	(D)	712,597,314	423,469,748	289,127,566
6	当 年 度 実 質 収 支	(C)-(D) (E)	956,963,186	1,036,424,623	△ 79,461,437
7	前 年 度 実 質 収 支	(F)	1,036,424,623	1,102,612,024	△ 66,187,401
8	単 年 度 収 支	(E)-(F) (G)	△ 79,461,437	△66,187,401	△ 13,274,036
9	積 立 金	(H)	983,485,249	614,857,662	368,627,587
10	繰 上 償 還 金	(I)	0	3,706,549	△ 3,706,549
11	積 立 金 取 崩 し 額	(J)	1,141,479,581	1,913,830,000	△ 772,350,419
12	実 質 単 年 度 収 支	(G)+(H)+(I) (K)	△ 237,455,769	△1,361,453,190	1,123,997,421

以下、歳入と歳出とに分けて、その概要を説明いたします。

まず、歳入は、次表のとおりであります。

区 分	年 度		比 較	
	平成30年度	平成29年度	金 額	率
	円	円	円	%
予 算 現 額	120,424,874,451	114,610,110,391	5,814,764,060	5.1
調 定 額	113,633,046,755	112,495,132,625	1,137,914,130	1.0
収 入 済 額	112,040,767,242	110,810,908,537	1,229,858,705	1.1
不 納 欠 損 額	122,292,259	96,224,432	26,067,827	27.1
収 入 未 済 額	1,481,039,649	1,597,931,977	△ 116,892,328	△ 7.3
収 入 率	% 98.6	% 98.5	—	0.1

(率は、小数点第2位を四捨五入で表示。次表以下同じ。)

調定額 113,633,046,755 円に対し、収入済額が 112,040,767,242 円でありましたので、収入率(調定額に対する収入済額の比率をいう。以下同じ。)は、98.6%で平成29年度に比較し0.1ポイント高くなっております。

不納欠損額は、122,292,259 円ですが、その主なものは、市税の 76,547,861 円です。

その内訳は、市民税 30,800,479 円、固定資産税 38,763,169 円、軽自動車税 2,088,772 円、都市計画税 4,895,441 円となっております。

収入未済額は、1,481,039,649 円となっておりますが、その主なものは、市税の 1,032,445,781 円です。

その他の収入未済額の主なものは、次のとおりであります。

第13款分担金及び負担金では、第1項第2目第2節児童福祉施設運営費負担金で 57,788,930 円です。

第14款使用料及び手数料では、第1項第7目第9節住宅使用料で 46,252,110 円です。

第21款諸収入では、第5項第3目第1節雑入中の生活保護費返還金で 297,072,215 円です。

歳入の確保につきましては、鋭意努力してまいりましたが、以上のような結果になりました。

なお、収入未済額については、引き続き徴収に努力しております。

次に、歳出は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	平成30年度	平成29年度	比 較	
			金 額	率
予 算 現 額	円 120,424,874,451	円 114,610,110,391	円 5,814,764,060	% 5.1
支 出 済 額	110,371,206,742	109,351,014,166	1,020,192,576	0.9
翌年度繰越額	8,944,251,466	4,206,345,451	4,737,906,015	112.6
不 用 額	1,109,416,243	1,052,750,774	56,665,469	5.4
執 行 率	% 91.7	% 95.4	—	△3.7

予算現額 120,424,874,451 円に対し、支出済額が 110,371,206,742 円でありましたので、執行率（予算現額に対する支出済額の比率をいう。以下同じ。）は、91.7%で平成 29 年度に比較し 3.7 ポイント低くなっております。

不用額は、1,109,416,243 円となっておりますが、その主なものは、次のとおりであります。

第 2 款総務費第 1 項第 1 目第 3 節職員手当等の 40,237,529 円は、退職手当及び時間外勤務手当等が見込みを下回ったことなどによるものであります。

第 3 款民生費第 3 項第 2 目第 20 節扶助費の 49,759,655 円は、生活保護受給者への就労支援事業等により稼働年齢層世帯が自立したことなどにより、被保護者数が見込みを下回ったことによるものであります。

第 6 款農林費第 1 項第 3 目第 19 節負担金、補助及び交付金の 81,470,211 円は、経営体育成支援事業において国の補助事業の採択件数が要望件数を下回ったことに伴い、未執行が生じたことなどによるものであります。

第 8 款土木費第 2 項第 2 目第 13 節委託料の 50,591,734 円は、除排雪出動回数が見込みを下回ったことなどによるものであります。

第 10 款教育費第 2 項第 3 目第 15 節工事請負費の 92,410,000 円は、緑が丘小学校屋内運動場大規模改修工事に係る事業費が見込みを下回ったことなどによるものであります。

第 10 款教育費第 3 項第 3 目第 15 節工事請負費の 71,002,880 円は、厨川中学校屋内運動場大規模改修工事に係る事業費が見込みを下回ったことなどによるものであります。

以上が歳出の概要であります。平成 30 年度は、平成 29 年度に比較し収入済額が 1,229,858,705 円、1.1%、支出済額が 1,020,192,576 円、0.9%それぞれ増加しました。

この間において、歳計現金の運用により生じた利子収入は、4,280,684 円であります。

なお、財政調整基金には、地方財政法の規定に基づくもののほか、当該基金の運用収入も合わせ、983,485,249 円を積み立てました。

次に、特別会計であります。会計事務の執行にあたりましては、一般会計と同様の配慮のもとに執行いたしました。

まず、歳入についてであります。全ての特別会計における合計額は、次表のとおりであります。

区 分	年 度	平成30年度	平成29年度	比 較	
				金 額	率
		円	円	円	%
予 算 現 額		57,724,353,000	61,116,258,000	△ 3,391,905,000	△ 5.5
調 定 額		59,953,321,166	64,617,962,012	△ 4,664,640,846	△ 7.2
収 入 済 額		57,810,918,464	62,087,756,414	△ 4,276,837,950	△ 6.9
不 納 欠 損 額		207,068,779	297,140,566	△ 90,071,787	△ 30.3
収 入 未 済 額		1,947,020,608	2,243,727,386	△ 296,706,778	△ 13.2
収 入 率		% 96.4	% 96.1	—	0.3

調定額 59,953,321,166 円に対し、収入済額が 57,810,918,464 円でありましたので、収入率は、96.4%で平成 29 年度に比較し 0.3 ポイント高くなっております。

次に、歳出の合計額は、次表のとおりであります。

区 分	年 度	平成30年度	平成29年度	比 較	
				金 額	率
		円	円	円	%
予 算 現 額		57,724,353,000	61,116,258,000	△ 3,391,905,000	△ 5.5
支 出 済 額		57,385,930,150	60,400,043,362	△ 3,014,113,212	△ 5.0
不 用 額		338,422,850	716,214,638	△ 377,791,788	△ 52.7
執 行 率		% 99.4	% 98.8	—	0.6

予算現額 57,724,353,000 円に対し、支出済額が 57,385,930,150 円でありましたので、執行率は、99.4%で平成 29 年度に比較し 0.6 ポイント高くなっております。

以上のとおり、収入済額 57,810,918,464 円に対し、支出済額は、57,385,930,150 円でありましたので、差引残額 424,988,314 円は、剰余金として令和元年度へ繰り越しております。

以下、特別会計ごとに、その概要を説明します。

まず、公設浄化槽事業費特別会計歳入歳出決算であります。歳入は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	平成30年度	平成29年度	比 較	
			金 額	率
予 算 現 額	円 8,913,000	円 8,881,000	円 32,000	% 0.4
調 定 額	8,995,532	8,970,927	24,605	0.3
収 入 済 額	8,995,532	8,970,927	24,605	0.3
収 入 率	% 100.0	% 100.0	-	0.0

調定額 8,995,532 円に対し、収入済額が 8,995,532 円でありましたので、収入率は、平成 29 年度と同率の 100.0%であります。

次に、歳出は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	平成30年度	平成29年度	比 較	
			金 額	率
予 算 現 額	円 8,913,000	円 8,881,000	円 32,000	% 0.4
支 出 済 額	8,385,407	8,349,027	36,380	0.4
不 用 額	527,593	531,973	△ 4,380	△ 0.8
執 行 率	% 94.1	% 94.0	-	0.1

予算現額 8,913,000 円に対し、支出済額が 8,385,407 円でありましたので、執行率は、94.1%で平成 29 年度に比較し 0.1 ポイント高くなっております。

以上のとおり、収入済額 8,995,532 円に対し、支出済額は、8,385,407 円でありましたので、差引残額 610,125 円は、剰余金として令和元年度へ繰り越しております。

次に、農業集落排水事業費特別会計歳入歳出決算であります。歳入は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	平成30年度	平成29年度	比 較	
			金 額	率
	円	円	円	%
予 算 現 額	530,868,000	525,195,000	5,673,000	1.1
調 定 額	541,155,737	536,938,237	4,217,500	0.8
収 入 済 額	531,918,385	526,021,485	5,896,900	1.1
不 納 欠 損 額	1,203,498	1,535,632	△ 332,134	△ 21.6
収 入 未 済 額	8,033,954	9,410,104	△ 1,376,150	△ 14.6
収 入 率	% 98.3	% 98.0	—	0.3

調定額 541,155,737 円に対し、収入済額が 531,918,385 円でありましたので、収入率は、98.3% で平成 29 年度に比較し 0.3 ポイント高くなっております。

次に、歳出は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	平成30年度	平成29年度	比 較	
			金 額	率
	円	円	円	%
予 算 現 額	530,868,000	525,195,000	5,673,000	1.1
支 出 済 額	530,322,020	524,586,260	5,735,760	1.1
不 用 額	545,980	608,740	△ 62,760	△ 10.3
執 行 率	% 99.9	% 99.9	—	0.0

予算現額 530,868,000 円に対し、支出済額が 530,322,020 円でありましたので、執行率は、平成 29 年度と同率の 99.9% であります。

以上のとおり、収入済額 531,918,385 円に対し、支出済額は、530,322,020 円でありましたので、差引残額 1,596,365 円は、剰余金として令和元年度へ繰り越しております。

次に、母子父子寡婦福祉資金貸付事業費特別会計歳入歳出決算であります。歳入は、次表のとおりであります。

年度 区分	平成30年度	平成29年度	比較	
			金額	率
予算現額	円 203,747,000	円 132,084,000	円 71,663,000	% 54.3
調定額	397,563,283	409,622,850	△ 12,059,567	△ 2.9
収入済額	240,474,179	260,067,003	△ 19,592,824	△ 7.5
不納欠損額	696,019	0	696,019	皆増
収入未済額	156,404,713	149,562,597	6,842,116	4.6
収入率	% 60.5	% 63.5	-	△3.0

調定額 397,563,283 円に対し、収入済額が 240,474,179 円でありましたので、収入率は、60.5%で平成 29 年度に比較し 3.0 ポイント低くなっております。

次に、歳出は、次表のとおりであります。

年度 区分	平成30年度	平成29年度	比較	
			金額	率
予算現額	円 203,747,000	円 132,084,000	円 71,663,000	% 54.3
支出済額	167,487,305	90,150,002	77,337,303	85.8
不用額	36,259,695	41,933,998	△ 5,674,303	△ 13.5
執行率	% 82.2	% 68.3	-	13.9

予算現額 203,747,000 円に対し、支出済額が 167,487,305 円でありましたので、執行率は、82.2%で平成 29 年度に比較し 13.9 ポイント高くなっております。

不用額は、36,259,695 円となっており、貸付額が母子、父子及び寡婦ともに見込みを下回ったことによるものであります。

以上のとおり、収入済額 240,474,179 円に対し、支出済額は、167,487,305 円でありましたので、差引残額 72,986,874 円は、剰余金として令和元年度へ繰り越しております。

次に、国民健康保険費特別会計歳入歳出決算であります。歳入は、次表のとおりであります。

区 分	年 度		比 較	
	平成30年度	平成29年度	金 額	率
	円	円	円	%
予 算 現 額	27,173,319,000	30,796,352,000	△ 3,623,033,000	△ 11.8
調 定 額	29,091,269,923	33,911,257,262	△ 4,819,987,339	△ 14.2
収 入 済 額	27,286,380,639	31,734,640,435	△ 4,448,259,796	△ 14.0
不 納 欠 損 額	153,988,137	242,898,678	△ 88,910,541	△ 36.6
収 入 未 済 額	1,656,142,604	1,938,137,269	△ 281,994,665	△ 14.5
収 入 率	% 93.8	% 93.6	—	0.2

調定額 29,091,269,923 円に対し、収入済額が 27,286,380,639 円でありましたので、収入率は、93.8%で平成 29 年度に比較し 0.2 ポイント高くなっております。

第 1 款第 1 項国民健康保険税は、第 1 目一般被保険者国民健康保険税と第 2 目退職被保険者等国民健康保険税を合計した調定額 7,077,505,249 円に対し、収入済額は、5,282,215,739 円で、収入率は、74.6%となり、平成 29 年度に比較し 3.3 ポイント高くなっております。

なお、第 1 目と第 2 目のそれぞれの収入状況は、次のとおりであります。

第 1 目一般被保険者国民健康保険税は、調定額 7,003,361,198 円に対し、収入済額は、5,245,499,403 円で、収入率は、74.9%、第 2 目退職被保険者等国民健康保険税は、調定額 74,144,051 円に対し、収入済額は、36,716,336 円で、収入率は、49.5%となっております。

不納欠損額は、153,988,137 円で、平成 29 年度に比較し 88,910,541 円減少しております。主なものは、第 1 款国民健康保険税の 152,979,663 円で、平成 29 年度に比較し 89,272,751 円の減少となっております。

収入未済額は、1,656,142,604 円で、平成 29 年度に比較し 281,994,665 円減少しておりますが、引き続き徴収に努力しております。

次に、歳出は、次表のとおりであります。

区 分	年 度	平成30年度	平成29年度	比 較	
				金 額	率
予 算 現 額		円 27,173,319,000	円 30,796,352,000	円 △ 3,623,033,000	% △ 11.8
支 出 済 額		27,118,811,135	30,435,960,318	△ 3,317,149,183	△ 10.9
不 用 額		54,507,865	360,391,682	△ 305,883,817	△ 84.9
執 行 率		% 99.8	% 98.8	-	1.0

予算現額 27,173,319,000 円に対し、支出済額が 27,118,811,135 円でありましたので、執行率は、99.8%で平成 29 年度に比較し 1.0 ポイント高くなっております。

不用額は、54,507,865 円となっておりますが、その主なものは、第 2 款保険給付費第 2 項高額療養費において予定した高額療養費が見込みを下回ったことによるもの 18,734,993 円などであり
ます。

なお、国民健康保険事業財政調整基金に、879,835,000 円を積み立てました。

以上のとおり、収入済額 27,286,380,639 円に対し、支出済額は、27,118,811,135 円でありましたので、差引残額 167,569,504 円は、剰余金として令和元年度へ繰り越しております。

次に、介護保険費特別会計歳入歳出決算であります。歳入は、次表のとおりであります。

年度 区分	平成30年度	平成29年度	比較	
			金額	率
予算現額	円 25,367,752,000	円 25,189,027,000	円 178,725,000	% 0.7
調定額	25,476,742,231	25,285,183,803	191,558,428	0.8
収入済額	25,324,775,911	25,118,552,991	206,222,920	0.8
不納欠損額	49,224,800	49,663,400	△ 438,600	△ 0.9
収入未済額	106,822,720	120,564,712	△ 13,741,992	△ 11.4
収入率	% 99.4	% 99.3	—	0.1

調定額 25,476,742,231 円に対し、収入済額が 25,324,775,911 円でありましたので、収入率は、99.4%で平成 29 年度と比較し 0.1 ポイント高くなっております。

次に、歳出は、次表のとおりであります。

年度 区分	平成30年度	平成29年度	比較	
			金額	率
予算現額	円 25,367,752,000	円 25,189,027,000	円 178,725,000	% 0.7
支出済額	25,153,528,290	24,912,574,296	240,953,994	1.0
不用額	214,223,710	276,452,704	△ 62,228,994	△ 22.5
執行率	% 99.2	% 98.9	—	0.3

予算現額 25,367,752,000 円に対し、支出済額が 25,153,528,290 円でありましたので、執行率は、99.2%で平成 29 年度に比較し 0.3 ポイント高くなっております。

不用額は、214,223,710 円となっておりますが、その主なものは、第 2 款保険給付費において利用件数が見込みを下回ったことなどによるもの 172,316,843 円などであります。

以上のとおり、収入済額 25,324,775,911 円に対し、支出済額は、25,153,528,290 円でありましたので、差引残額 171,247,621 円は、剰余金として令和元年度へ繰り越しております。

次に、後期高齢者医療費特別会計歳入歳出決算であります。歳入は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	平成30年度	平成29年度	比 較	
			金 額	率
予 算 現 額	円 3,094,931,000	円 2,994,882,000	円 100,049,000	% 3.3
調 定 額	3,094,565,332	2,996,295,368	98,269,964	3.3
収 入 済 額	3,077,445,978	2,972,112,330	105,333,648	3.5
不 納 欠 損 額	1,824,000	2,531,800	△ 707,800	△ 28.0
収 入 未 済 額	17,647,654	24,261,438	△ 6,613,784	△ 27.3
収 入 率	% 99.4	% 99.2	-	0.2

調定額 3,094,565,332 円に対し、収入済額が 3,077,445,978 円でありましたので、収入率は、99.4%で平成 29 年度と比較し 0.2 ポイント高くなっております。

次に、歳出は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	平成30年度	平成29年度	比 較	
			金 額	率
予 算 現 額	円 3,094,931,000	円 2,994,882,000	円 100,049,000	% 3.3
支 出 済 額	3,068,316,997	2,962,352,449	105,964,548	3.6
不 用 額	26,614,003	32,529,551	△ 5,915,548	△ 18.2
執 行 率	% 99.1	% 98.9	-	0.2

予算現額 3,094,931,000 円に対し、支出済額が 3,068,316,997 円でありましたので、執行率は、99.1%で平成 29 年度に比較し 0.2 ポイント高くなっております。

不用額は、26,614,003 円となっておりますが、その主なものは、第 2 款後期高齢者医療広域連合納付金において納付金の支払額が見込みを下回ったことによるもの 21,196,911 円などでありませす。

以上のとおり、収入済額 3,077,445,978 円に対し、支出済額は、3,068,316,997 円でありましたので、差引残額 9,128,981 円は、剰余金として令和元年度へ繰り越しております。

次に、中央卸売市場費特別会計歳入歳出決算であります。歳入は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	平成30年度	平成29年度	比 較	
			金 額	率
	円	円	円	%
予 算 現 額	1,322,841,000	1,441,913,000	△ 119,072,000	△ 8.3
調 定 額	1,321,285,502	1,441,699,126	△ 120,413,624	△ 8.4
収 入 済 額	1,319,184,214	1,439,396,804	△ 120,212,590	△ 8.4
不 納 欠 損 額	132,325	511,056	△ 378,731	△ 74.1
収 入 未 済 額	1,968,963	1,791,266	177,697	9.9
収 入 率	% 99.8	% 99.8	—	0.0

調定額 1,321,285,502 円に対し、収入済額が 1,319,184,214 円でありましたので、収入率は、平成 29 年度と同率の 99.8%であります。

次に、歳出は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	平成30年度	平成29年度	比 較	
			金 額	率
	円	円	円	%
予 算 現 額	1,322,841,000	1,441,913,000	△ 119,072,000	△ 8.3
支 出 済 額	1,317,470,732	1,438,307,282	△ 120,836,550	△ 8.4
不 用 額	5,370,268	3,605,718	1,764,550	48.9
執 行 率	% 99.6	% 99.7	—	△0.1

予算現額 1,322,841,000 円に対し、支出済額が 1,317,470,732 円でありましたので、執行率は、99.6%で平成 29 年度に比較し 0.1 ポイント低くなっております。

以上のとおり、収入済額 1,319,184,214 円に対し、支出済額は、1,317,470,732 円でありましたので、差引残額 1,713,482 円は、剰余金として令和元年度へ繰り越しております。

次に、土地取得事業費特別会計歳入歳出決算であります。歳入は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	平成30年度	平成29年度	比 較	
			金 額	率
	円	円	円	%
予 算 現 額	18,601,000	20,736,000	△ 2,135,000	△ 10.3
調 定 額	18,592,482	20,807,801	△ 2,215,319	△ 10.6
収 入 済 額	18,592,482	20,807,801	△ 2,215,319	△ 10.6
収 入 率	100.0	100.0	-	0.0

調定額 18,592,482 円に対し、収入済額が 18,592,482 円でありましたので、収入率は、平成 29 年度と同率の 100.0%であります。

次に、歳出は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	平成30年度	平成29年度	比 較	
			金 額	率
	円	円	円	%
予 算 現 額	18,601,000	20,736,000	△ 2,135,000	△ 10.3
支 出 済 額	18,457,120	20,577,090	△ 2,119,970	△ 10.3
不 用 額	143,880	158,910	△ 15,030	△ 9.5
執 行 率	99.2	99.2	-	0.0

予算現額 18,601,000 円に対し、支出済額が 18,457,120 円でありましたので、執行率は、平成 29 年度と同率の 99.2%であります。

以上のとおり、収入済額 18,592,482 円に対し、支出済額は、18,457,120 円でありましたので、差引残額 135,362 円は、剰余金として令和元年度へ繰り越しております。

次に、東中野財産区特別会計歳入歳出決算であります。歳入は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	平成30年度	平成29年度	比 較	
			金 額	率
予 算 現 額	円 2,677,000	円 2,677,000	円 0	% 0.0
調 定 額	2,675,698	2,675,698	0	0.0
収 入 済 額	2,675,698	2,675,698	0	0.0
収 入 率	% 100.0	% 100.0	-	0.0

調定額 2,675,698 円に対し、収入済額が 2,675,698 円でありましたので、収入率は、平成 29 年度と同率の 100.0%であります。

次に、歳出は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	平成30年度	平成29年度	比 較	
			金 額	率
予 算 現 額	円 2,677,000	円 2,677,000	円 0	% 0.0
支 出 済 額	2,675,698	2,675,698	0	0.0
不 用 額	1,302	1,302	0	0.0
執 行 率	% 100.0	% 100.0	-	0.0

予算現額 2,677,000 円に対し、支出済額が 2,675,698 円でありましたので、執行率は、平成 29 年度と同率の 100.0%であります。

以上のとおり、収入済額、支出済額とも 2,675,698 円でありましたので、差引残額は、ありません。

最後に、東中野、東安庭、門財産区特別会計歳入歳出決算であります。歳入は、次表のとおりであります。

年度 区分	平成30年度	平成29年度	比較	
			金額	率
予算現額	円 704,000	円 4,511,000	円 △ 3,807,000	% △ 84.4
調定額	475,446	4,510,940	△ 4,035,494	△ 89.5
収入済額	475,446	4,510,940	△ 4,035,494	△ 89.5
収入率	% 100.0	% 100.0	-	0.0

調定額 475,446 円に対し、収入済額が 475,446 円でありましたので、収入率は、平成 29 年度と同率の 100.0%であります。

次に、歳出は、次表のとおりであります。

年度 区分	平成30年度	平成29年度	比較	
			金額	率
予算現額	円 704,000	円 4,511,000	円 △ 3,807,000	% △ 84.4
支出済額	475,446	4,510,940	△ 4,035,494	△ 89.5
不用額	228,554	60	228,494	380,823.3
執行率	% 67.5	% 100.0	-	△32.5

予算現額 704,000 円に対し、支出済額が 475,446 円でありましたので、執行率は、67.5%で平成 29 年度に比較し 32.5 ポイント低くなっております。

以上のとおり、収入済額、支出済額とも 475,446 円でありましたので、差引残額は、ありません。

以上で、一般会計及び各特別会計における平成 30 年度決算の概要についての説明を終わります。

なお、決算書のほか、地方自治法第 233 条第 5 項の規定に基づき、決算書の付属書類として歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書を提出しております。